



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社クエスト 上場取引所 東
 コード番号 2332 URL <https://www.quest.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 会長 兼 (氏名) 清澤 一郎
 社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 小泉 裕 (TEL) 050-3785-3965
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	11,007	4.0	781	△1.3	834	△0.7	554	△2.0
2024年3月期第3四半期	10,588	0.0	791	△6.1	840	△6.1	565	△6.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 426百万円(△26.4%) 2024年3月期第3四半期 579百万円(△3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	103.43	—
2024年3月期第3四半期	105.63	—

※1) EBITDA 2025年3月期第3四半期: 955百万円 2024年3月期第3四半期: 970百万円

EBITDAマージン 2025年3月期第3四半期: 8.7% 2024年3月期第3四半期: 9.2%

上記の算式は、添付資料P2「1.経営成績等の概況(1)当四半期連結累計期間の経営成績の概況」を参照

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	9,300	6,959	74.8	1,298.52
2024年3月期	9,460	6,787	71.7	1,267.74

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 6,959百万円 2024年3月期 6,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	49.00	49.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	54.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 49円00銭、記念配当 5円00銭(創立60周年記念配当)

詳細については、本日公表の「配当予想の修正(創立60周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	5.4	1,050	5.2	1,090	2.7	720	3.4	134.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	5,487,768株	2024年3月期	5,487,768株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	128,018株	2024年3月期	133,579株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	5,357,629株	2024年3月期3Q	5,352,073株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
四半期連結包括利益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。その一方で、物価上昇、米国の政策動向、中東地域をめぐる情勢等の影響により、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

当社グループが属する情報サービス産業においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2024年11月分確報」の情報サービス業の売上高合計(4~11月累計)は、前年同月比5.2%の増加となり、主力の「受注ソフトウェア」は同7.7%増加、「システム等管理運営受託」は同4.0%増加となりました。業務プロセスの効率化ニーズ、情報セキュリティ対策に加え、既存システムのクラウド化やAI技術の導入支援の需要が加速しており、IT・DX投資は引き続き拡大することが見込まれます。

このような事業環境のもと、当社は中長期ビジョン「Quest Vision2030」(※1)の第2期である「2024-2026年度・中期経営計画」で掲げた以下の基本方針に基づき、基盤の強化と着実な成長を念頭に活動を展開しました。

■事業ポートフォリオの変革

- ・当社の強みである顧客密着型の既存事業(コアサービス)の深耕と、ソリューションサービスの拡大を通し収益性向上を目指します。
- ・2024年度より、事業部門の組織体制を顧客・産業軸、IT技術軸で再編し、顧客への提供価値とサービスメニューの拡充を図ります。

■人と技術への未来投資

- ・人的資本投資を拡充するとともに、重点領域を中心とした新たな技術獲得への投資を引き続き実施します。
- ・高い付加価値をもたらすソリューションサービスの確立に向けた人材育成、技術開発、ビジネスデザインを強化しています。

■事業体質と経営基盤の強化

- ・持続的成長と企業価値向上の実現を支える強固な事業基盤を構築します。
- ・リソースの高流動化やデータドリブン経営の実現に向けた活動プロジェクトを通し、意識改革と実行力向上に取り組んでいます。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

当社では、顧客産業の需給動向に応じた適切なリソース配分を行いながら、8つの顧客産業を「重点強化領域」「安定成長領域」「社会課題解決領域」の3つの領域として定義し、ポートフォリオマネジメントを実施しています。

売上高は、前年同期比4.0%増の110億7百万円となりました。重点強化領域である半導体分野顧客(イメージセンサー、メモリー)、安定成長領域であるエンタテインメント分野顧客、社会課題解決領域である移動・物流分野顧客における新規案件受注の拡大等によるものです。

営業利益は7億81百万円(前年同期比1.3%減)、経常利益は8億34百万円(同0.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億54百万円(同2.0%減)となり、いずれも前年同期を下回る結果となりました。従業員の処遇向上や教育を含む人的資本投資の拡充に引き続き取り組んでおり、これらの成長投資に加え物価上昇に連動してコストが増加したこと等によるものです。

連結会計の適用に伴い、一定期間において顧客関連資産及びのれんの償却費用が計上されることとなります。比較可能性を担保するための指標として、当第3四半期連結累計期間におけるEBITDA(※2)は9億55百万円、EBITDAマージン(※3)は8.7%となりました。参考値として、前第3四半期連結累計期間のEBITDAは9億70百万円、EBITDAマージンは9.2%となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

システム開発事業については、主要顧客である半導体分野顧客、エンタテインメント分野顧客、移動・物流分野顧客における開発案件の受注が増加したことにより、売上高は68億46百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は12億37百万円（同13.1%増）となりました。

インフラサービス事業については、半導体分野顧客、公共・社会分野顧客に対するサービス提供が増加したことにより、売上高は41億34百万円（前年同期比0.1%増）となったものの、セグメント利益は6億32百万円（同12.6%減）となりました。

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しています。

2. セグメント利益については、全社費用等の配分前で記載しています。

3. 2024年4月に組織体制の大幅な再編を行い、協力会社管理をはじめとした事業基盤を強化しました。この結果、増加した間接費の配賦によりセグメント利益の対前年同期比はセグメント間で大きな変動があります。

※1. Quest Vision2030：当社のウェブページをご参照ください。

<https://www.quest.co.jp/corporate/ir-info/quest-vision-2030.html>

2. EBITDA：税金等調整前四半期純利益＋支払利息＋減価償却費＋顧客関連資産償却費＋のれん償却費

3. EBITDAマージン：EBITDA÷売上高

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

<資産>

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は93億円となり、前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少しました。これは主に現金及び預金が2億13百万円減少したこと、投資有価証券が1億96百万円減少したこと等によるものです。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は23億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億31百万円減少しました。これは主に賞与引当金が4億10百万円減少したこと、未払法人税等が1億81百万円減少したこと等によるものです。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は69億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億72百万円増加しました。これは主に利益剰余金が2億91百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が1億28百万円減少したこと等によるものです。利益剰余金については、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により5億54百万円増加し、配当金の支払いにより2億62百万円減少しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日に公表した連結業績予想から修正は行っていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,914,570	2,701,131
受取手形、売掛金及び契約資産	3,209,986	3,436,730
有価証券	80,941	91,536
金銭の信託	200,000	200,000
仕掛品	3,338	9,088
その他	266,974	264,617
流動資産合計	6,675,811	6,703,104
固定資産		
有形固定資産	220,638	209,149
無形固定資産		
顧客関連資産	463,070	431,497
のれん	229,437	172,078
その他	15,157	12,584
無形固定資産合計	707,665	616,160
投資その他の資産		
投資有価証券	998,214	801,478
その他	858,168	971,038
投資その他の資産合計	1,856,382	1,772,516
固定資産合計	2,784,686	2,597,826
資産合計	9,460,497	9,300,930

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	418,334	460,413
未払法人税等	207,101	25,501
契約負債	26,102	38,160
賞与引当金	792,026	381,278
役員賞与引当金	7,535	5,000
プロジェクト損失引当金	2,466	562
その他	757,972	846,553
流動負債合計	2,211,539	1,757,471
固定負債		
役員退職慰労引当金	55,422	60,515
退職給付に係る負債	262,525	267,844
資産除去債務	—	10,670
その他	143,299	244,709
固定負債合計	461,247	583,739
負債合計	2,672,787	2,341,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	491,031	491,031
資本剰余金	607,586	611,349
利益剰余金	5,383,869	5,675,639
自己株式	△93,829	△89,995
株主資本合計	6,388,658	6,688,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	399,039	270,349
退職給付に係る調整累計額	11	1,346
その他の包括利益累計額合計	399,051	271,695
純資産合計	6,787,709	6,959,720
負債純資産合計	9,460,497	9,300,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	10,588,347	11,007,281
売上原価	8,578,076	8,970,122
売上総利益	2,010,270	2,037,159
販売費及び一般管理費	1,218,615	1,256,092
営業利益	791,655	781,066
営業外収益		
受取利息	12	292
受取配当金	30,047	20,209
投資事業組合運用益	4,836	21,447
持分法による投資利益	8,371	—
その他	8,277	12,124
営業外収益合計	51,544	54,074
営業外費用		
支払利息	456	625
固定資産除却損	2,196	—
その他	0	0
営業外費用合計	2,652	625
経常利益	840,547	834,515
税金等調整前四半期純利益	840,547	834,515
法人税、住民税及び事業税	81,318	91,709
法人税等調整額	193,914	188,682
法人税等合計	275,233	280,391
四半期純利益	565,314	554,124
親会社株主に帰属する四半期純利益	565,314	554,124

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	565,314	554,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,782	△128,690
退職給付に係る調整額	5,330	1,334
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,471	—
その他の包括利益合計	14,641	△127,355
四半期包括利益	579,956	426,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	579,956	426,768

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計
	システム開発	インフラ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から 生じる収益	6,446,833	4,131,038	10,577,872	10,474	10,588,347
外部顧客への売上高	6,446,833	4,131,038	10,577,872	10,474	10,588,347
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注)2	11,908	8,672	20,580	—	20,580
計	6,458,742	4,139,711	10,598,453	10,474	10,608,928
セグメント利益	1,094,472	723,946	1,818,419	955	1,819,375

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品販売事業を含んでいます。

(注)2. セグメント間の取引価格は市場価格、総原価を勘案して価格交渉のうえ、決定しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,818,419
「その他」の区分の利益	955
セグメント間取引消去	14,210
全社費用(注)	△1,041,930
四半期連結損益計算書の営業利益	791,655

(注)全社費用は、当社の人事・経理部門等に関する費用です。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計
	システム開発	インフラ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から 生じる収益	6,846,316	4,134,838	10,981,154	26,126	11,007,281
外部顧客への売上高	6,846,316	4,134,838	10,981,154	26,126	11,007,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注)2	450	—	450	—	450
計	6,846,766	4,134,838	10,981,604	26,126	11,007,731
セグメント利益	1,237,378	632,380	1,869,759	3,835	1,873,595

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品販売事業を含んでいます。

(注)2. セグメント間の取引価格は市場価格、総原価を勘案して価格交渉のうえ、決定しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,869,759
「その他」の区分の利益	3,835
セグメント間取引消去	22,860
全社費用(注)	△1,115,388
四半期連結損益計算書の営業利益	781,066

(注)全社費用は、当社の人事・経理部門等に関する費用です。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(顧客関連資産及びのれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、顧客関連資産償却費及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	40,129千円	31,670千円
顧客関連資産償却費	31,573	31,573
のれんの償却額	57,359	57,359